

1

くらいに 気を つけて かず 数を あらわそう。

月 日



100より大きい数のものを数えるときに、10のまとまり、100のまとまりをつくって数え、100のまとまりが何個と10のまとまりが何個とばらが何個ととらえて、位取り記数法を意識して数が表せるか確認します。また、位取り板に●を用いて数を表し、位取り記数法の理解を深めます。数の大小比較の方法として、大きい位から順に数を比べる方法も学びます（規則性・保存性・因果性）。

規則性 保存性 因果性

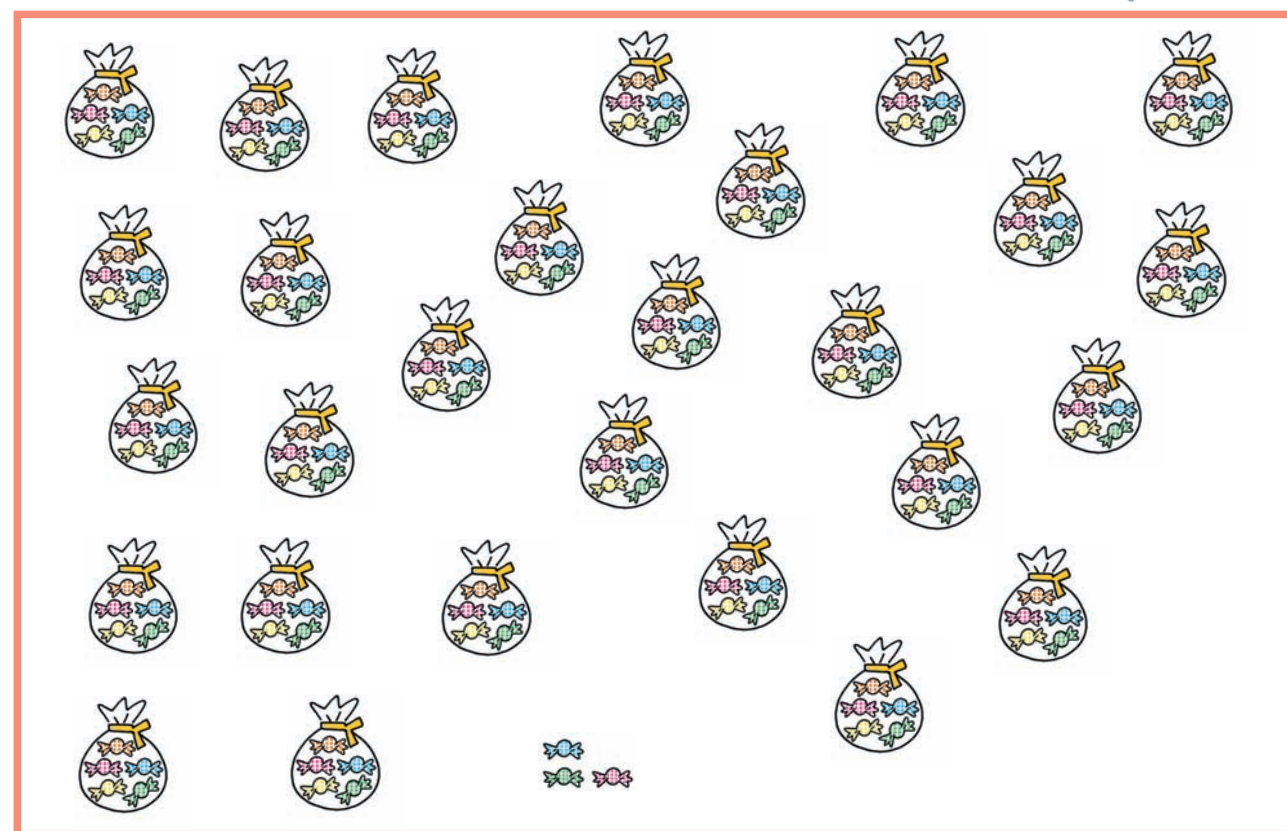
もんだい 1 あめは なんこ あるか かぞ 数えます。

(1) 10の まとまり は なんこ あるでしょう。

こ



10が 10こで
100だから、
100より
おお
多いよ！



(2) 100の まとまり を ○で かこんでから 答えましょう。

100の まとまり が こと 10の まとまり が こと

ばら が こと、 100の まとまりの 数を か 書く ところを 百のくらいと いうよ。



もんだい 2



には あめが 10こ 入っ て います。なんこ あるでしょう。



100の まとまり が こと 10の まとまり が こと

ばら が こと、 百のくらい 十のくらい 一のくらい

もんだい 3

なんえん

何円 あるでしょう。

(1)



百のくらい 十のくらい 一のくらい

円



100円、10円に なる ものを かぞ 数えよう。

(2)



百のくらい 十のくらい 一のくらい

円

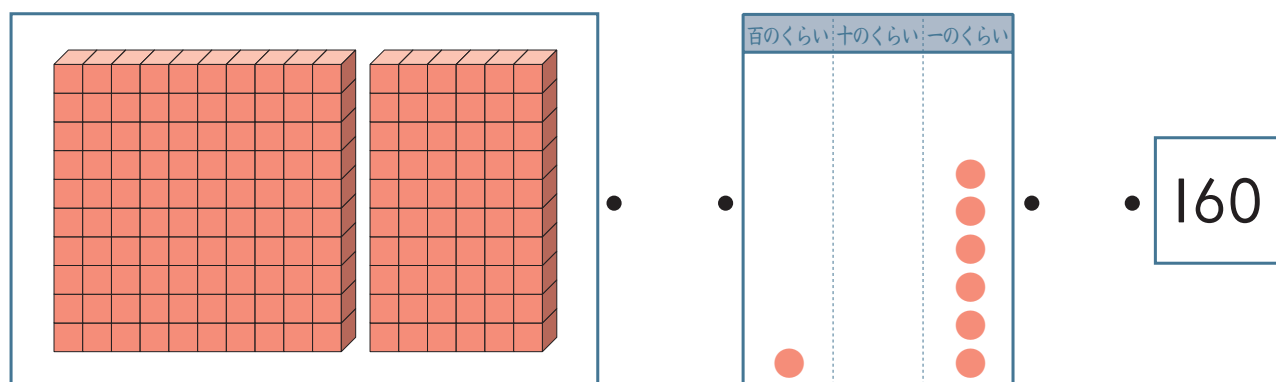
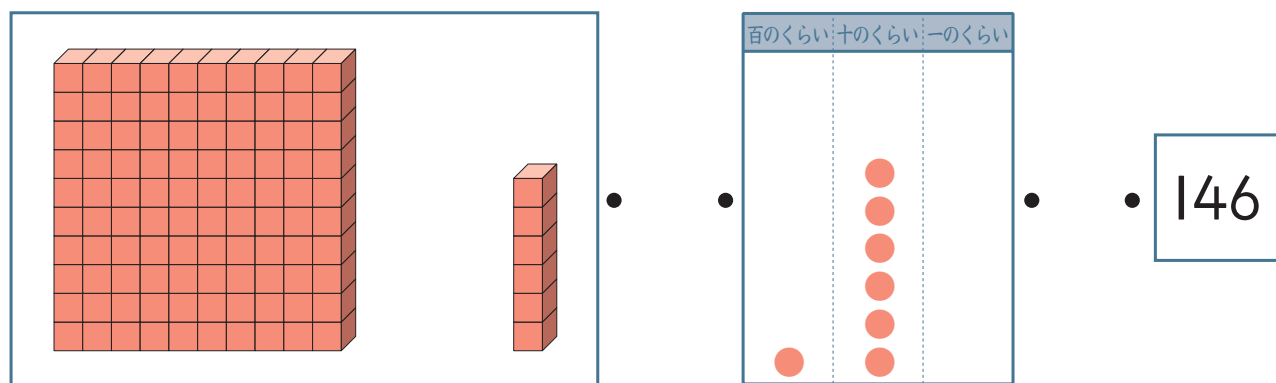
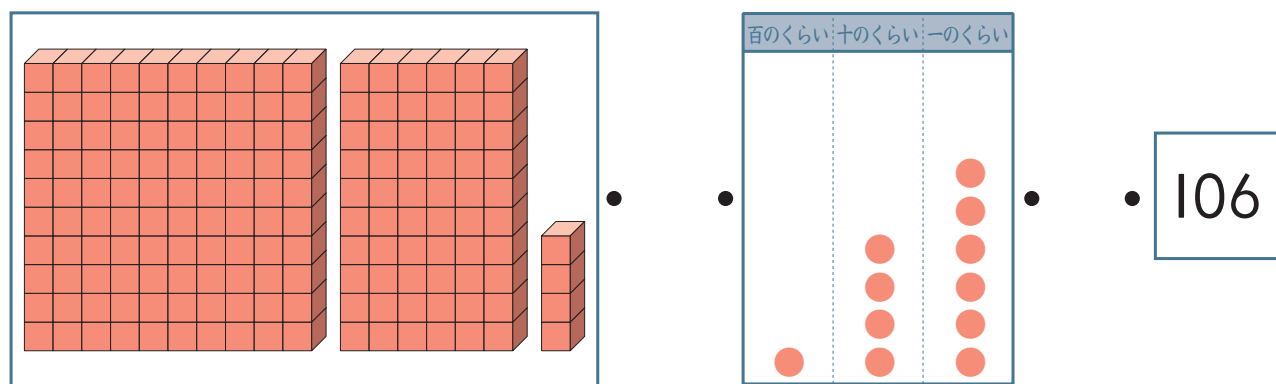
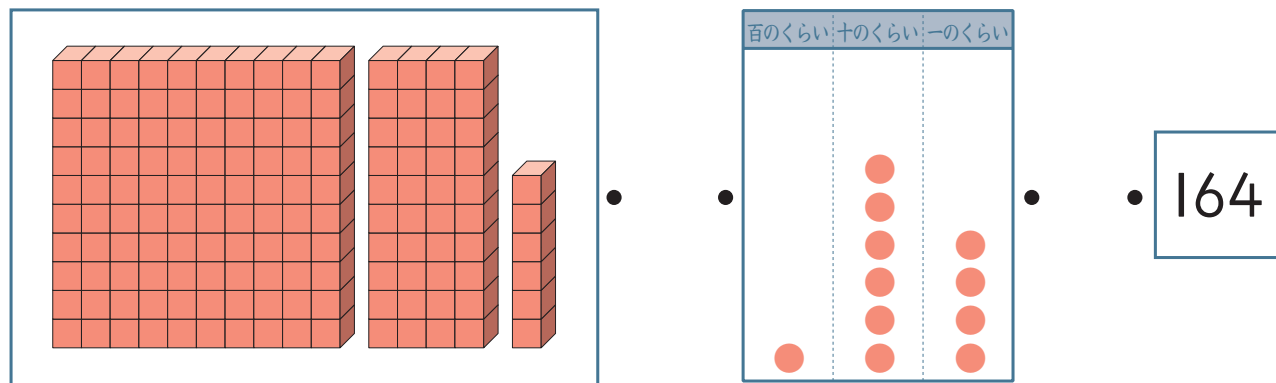
(3)



百のくらい 十のくらい 一のくらい

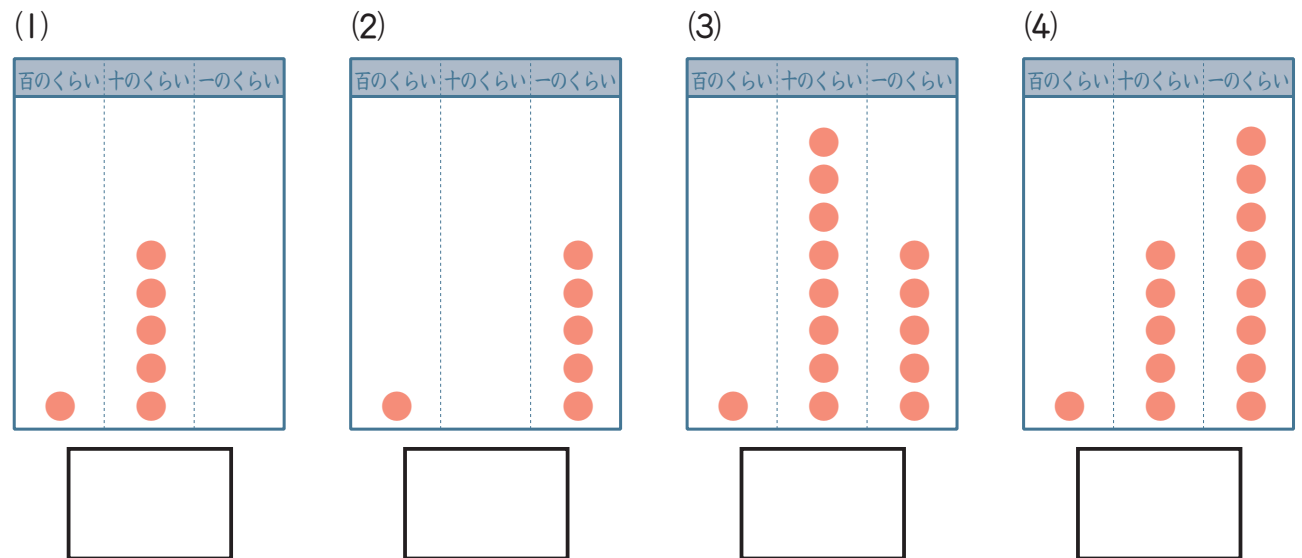
円

もんだい 4 おな かず 同じ 数を あらわして いる ものを ー で おすびましよう。



もんだい 5 いくつを あらわして いるでしょう。

なん 何のくらいに ー が あるかで、
あらわす 数が ちがうんだってね。



もんだい 6 つぎの もんだいに 答えましよう。

(1) おな かず 同じ 数を あらわして いる ものを ー で おすびましよう。

100の まとまりが 1こと
10の まとまりが 2こ

102

100の まとまりが 1こと
ばらが 2こ

122

100の まとまりが 1こと
10の まとまりが 2こと
ばらが 2こ

120

(2) 102, 122, 120を 大きい ほうから じゅんに ならべましよう。

→ →

大きい くらいから
じゅんに 数を
くらべれば いいよ。



おうちの 人に まるつけを してもらおう。